

3、沿革史

元号	年	月	日	できごと
明治	9	5	28	新出小学校として開校（男子65人 女子15人 計80人）
	18	5	4	加太小学校と改名する。
	25	4	1	学制改革により、加太尋常小学校と改名 児童数137人
	30	2	15	高等科を併設し、加太尋常高等小学校と改名
大正	2	7	5	閑院宮 校庭に松をお手植え（現在、給食室東側にあり）
昭和	4	3	23	講堂竣工
	11	10	30	創立60周年記念式典挙行
	12	5	14	新校舎落成
	16	4	1	加太国民学校と改名
	19	9	7	大阪市西成区津守国民学校の児童196人を疎開児として受け入れる。12月にも第2次の児童を受け入れる。
	22	4	1	加太小学校と改名
	22	12	1	給食開始
	23	2	25	PTA結成式
	28	4	1	幼稚園併設 同27日に開園式
	29	3	9	校歌発表会
	33	7	1	和歌山市立加太小学校となる
	39	3	31	大川分校休校
	40	11	25	道德教育研究会開催
	41	5	28	創立90周年記念式典挙行
	41	10	12	文部省（当時）研究指定、道德教育研究発表会開催
	51	5	28	創立100周年記念式典挙行
	52	4	26	体育館完成
	53	11	21	和歌山市指定理科教育研究発表会開催 59年まで毎年開催する
	62	3	31	大川分校廃校
平成	3	3	9	新校舎竣工
	3	12	5	特別活動研究発表会開催
	4	4	5	文部省（当時）より「週5日制調査研究」の研究指定を受ける。
	6	5	18	新プール竣工
	9	4	8	和歌山県より「ふるさと教育」の研究指定を受ける。H9・10年度
	12	2	21	和歌山県教育委員会より「ふるさと教育を中軸とする現職教育」に対して教育奨励賞受賞
	12	9	15	青木・鹿島共同企業体より「学校ビオトープ」寄贈、完成。
	12			奈良県吉野郡川上村立川上小学校との交流が始まる。（＊）
	13	3	16	近畿特別教育研究大会、本校で全学年の授業と、全校集会を公開
	13	11	11	文部科学省より「豊かな体験活動」推進校としての研究指定を受ける。
	14	6	25	国土交通省より「加太海水浴場の清掃活動」に対して表彰を受ける。

平成	16	4	1	「小中連携子どもサポートプラン事業」モデル校となる。
	17	10	28	和歌山県書写教育研究会和歌山市大会開催
	18	3	3	和歌山放送「わたくしの作文」で学校賞受賞(＊＊)
	19	4	1	経済産業省より「地域自立・民間活用型キャリア教育プロジェクト」の指定を受ける。
	20	4	1	文部科学省より「外部評価協力校」の指定を受ける。
	20	4	1	和歌山県より「ことばと体験をつなぐ研究開発事業」の指定を受ける。
	21	10	28	教科等別研修会で国語科2、図書館教育1の研究授業を行う。
	22	4	1	和歌山市より国語科研究校の指定を受ける。 H22・23年度
	22	7		耐震工事をおこなう。8月末に完了する。
	22	11	17	教科等別研修会で国語科2の研究授業を行う。
	23	1	31	清交クラブより図書の贈呈式を行う。清交文庫完成。
	23	3	11	東北大震災が起こり、当地区にも大津波警報が発表される。
	24	5	21	金環日食を全校児童で観察する。
	24	7	18	山崎直子さん「宇宙アサガオ」の苗の寄贈を受け、加太駅等に植栽。
	24	11	3	紅葉鯛祭りで「加太の鯛」の合唱を披露する。
	25	5	18	和歌山県緑化功労賞受賞する。
	26	4	1	「言葉」を通した「伝え合う力」の育成の研究を受ける。
	26	8	1	「海の日」海事関係功労者国土交通大臣表賞を受賞する。
	26	9	9	防災学習ワークショップを名古屋大学福和伸夫教授を招き行う。
	28	4	1	新しい教育課題への対応(市)指定「自ら学ぼうとする子供の育成」の研究実践に取り組む(1年次)。
	29	4	1	新しい教育課題への対応(市)指定「自ら学ぼうとする子供の育成」の研究実践に取り組む(2年次)、研究発表会を開催する。
	30	4	1	「伸びよう、優しく、たくましく ～海と共に輝け加太っ子」のテーマのもと、地域学習に係る研究実践に取り組み、研究発表会を開催する。 「和歌山市教育論文 学校の部」奨励賞を受賞する。
令和	元	4	1	「伸びよう、優しく、たくましく ～地域と共に輝け加太っ子」のテーマのもと、地域学習に係る研究実践に取り組み、研究発表会を開催する。
	2	4	1	新型コロナウイルス感染拡大を受け、4・5月臨時休業となり各行事の中止・延期等、大幅な教育課程の変更が余儀なくされる。「主体的・対話的で深い「学び」へ向かう授業の創造 ～「地域」素材を生かした、学習活動の展開～」のテーマのもと、地域学習に係る研究実践発表会を開催に向け取り組む。
	3	4	1	新型コロナウイルス感染症対策により、各行事の実施内容の検討、縮小・中止・延期等、昨年に続き教育課程の変更がおこなわれる。 「主体的・対話的で深い「学び」へ向かう授業の創造 ～「地域」素材を生かした、学習活動の展開～」のテーマのもと、地域学習に係る研究実践発表会を開催に向け取り組む。
	4	4	1	和歌山県では初めての小規模特認校となる。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら学校運営を行う。 小規模校として加太オリジナルの創造と実践 ～ヒト・モノ・コトとの連携・協働～ というテーマのもと、研究実践に取り組んでいる。
	5	4	1	新型コロナウイルス感染症が徐々に終息に向かう中、各行事の復活が見込まれる。小規模特認校として2年目を迎える。子どもの自主性を引き出す「加太っ子スタイルの創造」を研究主題として取り組む。